

男子35才以上ダブルス本戦

1R F



男子35才以上ダブルス予選

Aブロック	1	2	3	4	勝敗	順位
1 飯島 聡介・高橋 智秀 (シダーズ)	-	-	-	-	-	-
2 濱中 充己・川戸 幸夫 (在住)	-	-	84	68	1-1	2
3 今井 寛太郎・尾崎 伸二 (佐藤設計)	-	48	-	48	0-2	3
4 中島 誠・堀合 則雄 (ESSC)	-	86	84	-	2-0	1

Bブロック	1	2	3	4	勝敗	順位
1 松本 毅・山越 章広 (在勤:アトムシステム)	-	-	-	-	-	-
2 三上 隆史・園田 英史 (在勤・在住)	-	-	48	86	1-1	2
3 高野 茂雄・高野 一茂 (辻堂アップ)	-	84	-	83	2-0	1
4 佐藤 陽二・中野 雄介 (ESSC)	-	68	38	-	0-2	3

Cブロック	1	2	3	4	勝敗	順位
1 鈴木 伸・八尾 健史 (アズビル)	-	61	60	63	3-0	1
2 佐々木 基郎・野部 順一 (在住)	16	-	60	46	1-2	3
3 柳下 徹也・中西 亮太 (ESSC)	06	06	-	26	0-3	4
4 池上 知孝・朝山 謙一郎 (在住)	36	64	62	-	2-1	2

Dブロック	1	2	3	勝敗	順位
1 木村 明夫・横井 健 (いすゞ)	-	87	86	2-0	1
2 船見 謙悟・本田 昌徳 (在住)	78	-	38	0-2	3
3 高野 宏章・岩田 哲生 (神奈中ITS)	68	83	-	1-1	2

セルフジャッジについて

- \* サービス、ストローク等を受ける方が、相手によく聞こえるようにフォールト、レット、アウトのコールをする。
- \* ポイント及びゲーム数のコールは、サービスサイドが相手によく聞こえるようにコールをする。
- \* コールは瞬間的にすること。アウトかインか不明の場合はインと判定する。
- \* フットフォールトは、自分で気をつけること。
- \* 判定につきトラブルが生じた場合は、レフリーに申告すること。

ノーアドバンテージ(ノーアド)について

- \* 各ゲームデュースになった場合、次の1ポイントでゲームの勝敗を決めます。
- \* サービス側はレシーバが指示するサイドでサーブをすること。(混合の種目を除く)
- \* そのポイントでレシーバは一度指示したサイドを変更できません。
- \* 混合の種目に関しては、男性サービスの場合は男性がリターン、女性サービスの場合は女性がリターンとなり、レシーバがサイドを指示する事はできません。